



編集発行
羽津北小学校
PTA広報部
印刷 阿竹印刷工業㈱

第 14 号
(卒業特集号)



大きく伸びます

けやきのよつと(校歌より)

学校長 安達 正秋

玄関前には、みなさんの成長を願って植えられた「けやき」の大木が、今も大空に向かって伸びようと、しっかりと根をはりつづけているはず。そして今、六年生のみなさんは、数々の思い出と大きな希望を胸いっぱい抱き、羽津北小学校を巣立とうとしています。

おめでとう。

この六年間に学んだこと、得たこと、体験したこと、その積み重ねがこれからの人生で、必ずや大きな自信となり力となるのです。

私は、みなさんと二年間生活を共にしました。羽津小学校から分離しての開校式、待ちこがれたプールの完成、青く澄んだ水の中で一生懸命泳ぎを覚えようとした水泳教室、轟音高く始まった体育館の基礎杭打ち工事、その音も完成を夢みて気にならなかつたはずで

す。そして、また、羽津北小のみなさんにふさわしい校歌もできました。そうそう、あなたたちが精一ぱい元氣よく歌った校歌のテープを、作曲の先生にお送りしたら大変嬉しいお便りをいただき感謝したことをつけ加えておきます。

学校の教育環境も、地区やPTAの方々の熱心な暖かいご配慮ですばらしいものになりました。「けやき」の大木も寄贈していただいた一つです。どれを取り上げてもなつかしい思い出ばかりです。

一組、さわやかで誠実な小倉先生の指導で、物事を最後までキチンとやり遂げることを覚えた気持ちのいい学級、冬の寒空のもと、小倉先生を先頭に農道を走り続けた業間マラソン。思い出の「こまでは…。

二組、とても熱心な加藤先生の

おかげで、物事に懸命に取り組むことを覚えたと思います。学級活動に時間を忘れて取り組んだ思い出も。

三組「佛の矢田先生」と異名のある温顔あふれる真面目な先生。人の暖かさ、心のふれあいの大切さを知ることができて何よりだったと思います。

いよいよ、四月から中学生です。その中学校時代を、どのように過ごすかによってみなさんの将来が決まるのではないかと思います。自分の将来をよく考え、自分というものを本当に大切にしたいと思えます。みなさんは、羽津北小学校の第一回の立派な卒業生です。すばらしい思い出の中から飛翔するのです。健康でたくましく、そして、他人の心のいたみわかる暖かい中学生になることを心か

ら祈っております。

誰でもが大陽であり得る私達の急務は

ただ、眼前の大陽を追いかけることではなくて自分等の内に高く大陽を



常識のある

人間に

会長 伊藤 淳一

六年生の皆さん、卒業おめでとう。心よりお祝い申し上げます。

小学校の六年間は楽しい思い出がいっぱいでしたか。良い友達がたくさん出来ましたか。

いよいよ四月からは中学生、また新しい学校生活が始まります。中学時代は君たちの将来の基礎をつくる大切な時です。そこで、心がけてほしいことは、

一、自分の考えを持つこと、出来れば、それが堂々と話せるように。

自分の意見を持つことなく、他人の人が言うから、やっているからと、後についていたり、まねをしたりしないことだと思います。

一、自分の得意なことを見つけ、それを伸ばす努力をすること。社会の中には、色々な役割があります。政治をする人、スポーツや芸能により楽しみを与えて

かかせることだ

島崎 藤村

(先年、馬籠の宿で見つけ

おもわず嬉しくなった俳文の一つです)

くれる人、自動車やコンピューターを作ってくれる人など、たくさんあり、それぞれ大切な役目を果たしています。中学時代に決まることではありませんが、前に書いたように、自分の考えをまとめていく時代だと思えます。自信のあることを大きく伸ばすように努力することだと思います。

一、他人に迷惑をかけないこと。自分一人、あるいは、自分たちだけの社会ではありません。自分だけが楽しければ、他人はどうでもよいという考え、たとえば、夜に爆竹を鳴らしたりするようなことは、しないことだと思います。

小学校時代の思い出と友達を大切にしながら、悔いのない中学時代をおくり、常識のある人間に成長してください。



心を豊かに

教頭 田村 節生

卒業おめでとう。いよいよ中学生ですね。六ヶ年の小学校生活を顧みると、みなさんの心にはいろいろな思い出があるでしょう。小学校で学んだ数々の経験と、想い出が、今後のみなさんを、よりよく育ててくれる糧になるよう、心から祈ります。

過日、私のところに教え子から、次のような手紙が届きました。

「先生、私は草花が大好きです。それも庭に草花を植えることではなく、道端や空き地などに、ひとりで育ち芽を出し、花を咲かせた草花に目をひかれます。――春には春の、冬には冬のみさまざま花が、あるときはひそやかに、あるものはほこらげに、咲きほこっているさまは、私にしみじみとした幸福感を、味わわせてくれます。」

みなさんは、この手紙を書いた人の気持ちわかりますか。すばらしい趣味の持ち主だと思えます。名もない花をかわいがり、楽しんでみえる姿が、目に浮かぶようです。

「少年よ大志を抱け。」という言葉がありますが、現代では更に、「少年よ趣味をもて」と、趣味をもつ

ことの、人生における意味が強調されるようになってきました。

趣味は心を豊かにするものであり、余暇を活用するものです。夢中になって、趣味にとりくむことのできる人は幸いです。よりよい趣味をもつ人は、次から次へと意欲が湧き、問題解決への新しい工夫も、生まれてくるものです。そのことが、人の心を豊かにし、社会に役立つ人になる基礎だとも思います。忙しい毎日の生活の中で、少しでも余暇を趣味に生かし、自分の生活を豊かにできる人になってください。



自分に負けるな

副会長 伊藤 一之

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうござります。

皆さんは、今、通い慣れた母校で、勉強や運動にはげんだ二年間に別れを惜しむ心と、中学校への希望に胸をふくらませ、羽ばたく心が入り混ざって、複雑な心境と思います。

この六年間を振りかえつてみた時、皆さん方には、いろいろと思いがあろうかと思えます。まず



純粋な心を

副会長 清水 貴志代

卒業生の皆様、この度めでたく御卒業になられ、心からお祝い申し上げます。又、御両親様も御満悦のこととお喜び申し上げます。

暖かい御家族の方々の愛にはぐくまれ、みなさんは健やかに成長され、無事卒業証書を手に入れた事は、自分の力だけではないという事を心に念じ、先生をはじめ、家族の皆様、また地域の方々に感

められたと思います。それは、これからの成長の糧として大切なものですから、記憶にとどめておいてほしいと思います。

自分を一番成長させるものは、「自分」なのです。何事も「目標」を持ち挑戦をして、人生の道しるべとして、「自分が自分に負けるな」という心構えで、学問や人格の形成に向けて、社会生活をする上での基本を作りましょう。



て、夜となく昼となく、何の抵抗もなく子育てに専念出来る親の気持ちを理解出来ないでしょうが、必ずしも一人で大きくなったのではない事を忘れて欲しいと思います。

みなさんから学び得た『純粋な心』、時として忘れがちな『この心』、あなた方は、親に教えて下さいました。この『純粋な心』を中学生になつても持ち続けて欲しいと思います。勉強ばかりが青春ではない、スポーツを通じて、心身共に豊かな人間にと、努力、前進し続けて下さい。



父母

6年1組



小倉 弘子

卒業おめでとう。

六年間を振り返ってみて、何かひとつでも満足したことはありませんでした。

これから歩いていく道にはいくつもの壁が待ち受けているでしょうが、いつも体あたりでぶつかっていき力を持っていて下さい。そのためには、人一倍の努力も忍耐も必要でしょう。
自分には厳しく、そして、つねに自分を見つめることを忘れずにこれからの人生、自らの手で大きく切り開いていってほしいです。



藤井 誠

自分の行動に、責任を持ち、自ら進んで勉強運動により一層励んで下さい。

グリーンスクールが一番楽しかったです。野外観察ではいろいろな植物を知ることができました。



佐藤 武
おめでとう。今後は、自分で計画し、実行することを期待します。

演説会でみんなの前に立って演説したことが、この六年間での一番の思い出です。とてもきんちようした時間でした。



葛山 徹夫
卒業おめでとう。六年間の思い出を胸に中学校でもがんばってください。

一番の思い出は、一年連続出場した陸上記録会の100メートル走です。練習の成果を発揮することができました。



水谷 正勝
卒業おめでとう。きびしさに打ち勝つ心の強い人になって下さい。

修学旅行の買い物で買った下じきや定規などを見ると旅行での出来事をまた思い出す。いってよかったです。



伊藤 照亮
今まで以上に努力して何事にも立ち向かっていける子になってね。

一番の思い出は、グリーンスクールでのキャンプファイヤーです。うたったり、おどったり、楽しかったです。



山本 新子
御恩になった先生への感謝を忘れず、運動や勉強に励んで下さい。

この六年間の一番の思い出は会長になったことでした。これからも小学校の経験を生かしていこうと思います。



一色 和雄
卒業おめでとう。目標を持ち、時間を大切に、頑張ってください。

六年生になって、初めて入った将ぎ・オセロクラブ。六年生の中の将ぎ大会で優勝したことが印象に残った。



伊藤 善定
我が、恩師友を忘れるな。

この六年間の中で、一番印象に残ったのはグリーンスクールです。自然のきびしさを知り、とても楽しかった。



三村 光男
卒業おめでとう。目標を持って一歩一歩前進して下さい。

楽しみにしていたプール開きでのものは演技。天気が悪くて出きなかったのはとても残念だった。



山中 春美
卒業おめでとう。新しい春に向かって勉強に運動に励んで下さい。

六年間で一番心に残ったのはグリーンスクールです。キャンプファイヤーでの出し物やダンスは楽しかったです。



近藤 すみ子
長い様で短かった六年間、よく頑張ったと思います。中学校も頑張ってください。

運動会でリレーに出たことや、陸上記録会の会場へ行けたことなどの思い出は、いつまでも忘れません。



川崎 孝一
六年間に学んだことを土台とし、前向きな姿勢で更に努力しよう。

楽しかったグリーンスクール。一番の思い出は、野外観察でいろいろな植物を見たことです。もう一度行きたい。



倉橋 恵也
六年間の思い出をいだし、責任持って正しい道をまっすぐ歩こう。

思い出いっぱい楽しい六年間だった。グリーンスクールでの野外観察で自然のきびしさを知った。



樋口 芳雄
卒業おめでとう。六年間の土台をもとに自助努力の精神でがんばれ。

この六年間の思い出は、運動会のリレー競技。残念ながらもかされたけど、楽しかったしおもしろかった。



守富 勝秀
卒業おめでとう。目標に向かって、運動に、勉強に、頑張りましょう。

楽しかったグリーンスクール。集団生活のきびしさもわかりました。中学校へ行っても、勉強に運動にがんばります。





坂井 忍
おめでとう。自分いきびしく、まわりの人々に思いやりの心で。

知らない草木がたくさんあったグリーンスクールの野外観察。四月から中学生。早くみんなの制服姿が見たいな。



松永 隆広
卒業おめでとう。中学へ行ってもその笑顔を忘れずに松永かおりバレーボールクラブ

ラブではじめてボールを打った時の痛さを忘れず、中学になってもがんばります。



伊藤 公裕
日々の努力こそ、栄光への近道。中学への出発、頑張ってください。

修学旅行の二百目の朝、ねむいと言ってる人が多かったのに、私は全然ねむくなかったのが心に残りました。



相松 正道
健康第一に。友達との和を大切にしよう。

の二年間の思い出は少ないけどグリーンスクール・修学旅行はいっぱい楽しかった。



宮崎 俊雄
卒業おめでとう。自分には厳しく人には思いやりを忘れない様に。

一番の思い出といったらやっぱり劇。何回も練習したのに、二月のビデオどりは、練習以下だったのが残念。



奥野 价宣
皆が揃って、無事に卒業できる事を喜んでいます。友達を大切に。

グリーンスクールがとてもよかったです。家での生活と似ているような感じがした。いろいろな思い出ができました。



増田 いよ
卒業おめでとう。先生の教えを忘れず、中学でも頑張ってください。

グリーンスクールのキャンプファイヤーで聖火を囲んだ時、みんなの顔がまっ赤だったのが印象的だった。



服部 文子
小さな背中の中のランドセル思い出しっぱい積みこんで卒業おめでとう。

はじめて代表委員会に出て、暗くなるまで話し合いをしたこともあった。帰りづらい時もあったけど忘れません。



水谷 清達
先生方、友達の方のおかげでこんな良い子に育ってくれました。

楽しい思い出いっぱいだった六年間を過ごせてよかったです。給食がなくなるかと思うととても安心します。



宮田 豊子
この六年間学んだ事を礎に中学でもより一層勉学に励んで下さい。

グリーンスクールは、六年間で一番いい思い出になった。山や林の中で友達とかけ回ったり歌を歌ったりして。



酒井 庄三
ご卒業おめでとう。心身共に健全な中学生に育って下さい。

六年間の一番の思い出は、キャンプファイヤーです。その中でもダンスをした歌を歌ったりして楽しかったです。



岩野 敬典
卒業おめでとう。六年間の思い出を胸に中学生生活を送れる事祈ります。

六年生の後期に放送委員会に入り、初めて自分の声が学校じゅうに流れたときのうれしさは忘れません。



伊藤 久子
卒業おめでとう。中学になって勉強に、ガンバってください。

六年の初めついた「キータン」というあだ名が印象的。このあだ名のおかげでたくさん友達が出来ました。



土肥 耕三
お互いに分かち合える友達を、一人でも多く作り大切に。

六年生の後期の美化委員で、整理整頓に少しは気を使うようになりました。よかったです。



山藤 和子
元気で卒業する姿を見、母はどんなにうれしいか。本当におめでとう。

後期バドミントンクラブで、みんなといっしょに打ちあって、とっても楽しかったです。



寺村 幸治
卒業おめでとう。中学生になるんですね。何事にもがんばってね。

楽しかった修学旅行、グリーンスクール。みんなで過ごしたこと全部わたしの思い出になった。



香西 徳子
今までに受けた教を更にもがき多くの人に愛を与えられる人になれたい。

六年間のうちにたくさんの方々が出来た。ケンカもしたけどすぐ仲直りをした。いつまでも友だちでいたい。





父母

卒業生

6年2組

思い出について

ひとこと



加藤ふみ子
新しい出発

今終わる一つの

こと／今こえる一つの山／風わたる草原／ひびき合う心の歌……こんな詩があります。ちやうどあなた方は今、小学校という一つの山を越えたのですね。苦しさに耐え、やつと何かをなした時のすがすがしき、喜びは、自分一人だけでなく、みんなの力を出し合つてこそ、より大きく感じられるものだと思います。学んだと思います。さあ、次は中学校というさらに高い山をめざして、出発です。



山下元旦
卒業おめでとう。将来に向かって一歩一歩慎重に前進していきましょう。

卒業しても、小学校生活のことを忘れずに、つらいことがあつても、がんばっていききたいと思つています。



北村元之
卒業おめでとう。中学生になつてもなお一層、運動、勉学に励むよう。

六年間、お世話になつた先生方から、思い出、友達との楽しい思い出は中学生になつても忘れないつもりです。



塩谷規夫
御世話になつた先生方の御恩を忘れず、素直な中学生になつてほしい。

グリーンスクールで、いろいろな植物を観察したり、キャンプファイヤーをしたりして、いい思い出になつた。



吉崎幹夫
六年間に修得したものを中学生生活で見ごと映かせてください。

グリーンスクールでの、植物の観察でいろいろな形の花、木など興味を持ちました。



寺村英市
自分にとって、最も大切なことは確信である。これからもがんばる。

六年組の友達は、とても親切で、わからない所があつたらよく教えてくれた。一組のみんなのことは忘れない。



松田三男
卒業おめでとう。腕白でもいい……は小学生迄、両立する様頑張る。

この六年間で心に残つたこと……みんなあせを流して戦つた球技大会での優勝のうれしさは忘れることができない。



岩崎良衛
お世話になりました。健康・笑顔努力を忘れずに。

なりました。羽津北に移つてまず、さ骨を折つた事が一番心に残つていきます。六年間ありがとう。



藤山正博
逆境に負けぬ精神力と、人の立場になつて考える優しさ忘れずに。

一番楽しく、一番厳しかつたグリーンスクール。協力し、まちがいはらもたんだあのふとん。絶対忘れない。



木村傲朗
卒業おめでとう。自分に責任をもつて前進してください。

六年間の中で一番心に残つたのは会長になつたことです。このことは一生忘れません。諸先生方、六年間ありがとう。



中山孝一
なつかしい小学校六年間の生活も終りですね。卒業おめでとう。

グリーンスクールで、雨の中を宮妻峠まで歩いたことが、一番思い出に残つています。



大久保正行
祝卒業／踏まれても、踏まれても挫けず、頑張れる人間になろう。

転校してきた子とも楽しく仲良くできました。六年間、いい友達と楽しくがんばつてきました。



真川将樹
卒業おめでとう。未来に向かい、大きな樹に育つて下さい。

運動会の最終リレーは、一番印象的だった。勝てなかつたのが残念だ。



森川栄子
六年間の長い階段をやつと登りつめたことにまずはおめでとうの言葉

六年間教えてくれた先生。勉強をたくさん教えてくださったので、今は、ありがとうと言いたい。



吉原典男
卒業おめでとう。小学校生活で学んだ事を土台に一層努力を。

入学してからはや八年たちました。入学式の時からたくさんの方たちが出来て毎日楽しい日々でした。



市川豊敏
卒業おめでとう。小学校生活を土台に、より成長してほしい。

六年間、宿題や持ち物をわすれて、先生によくおこられたことを思い出すと、めいわくをかけたと思つています。



坂 卓夫
いよいよ中学生。
小学校で学んだ事
友達を忘れず頑張
つて下さい。

仲の良い子と別れて、とてもさみ
しかった羽津北への移動。でも大勢
の友達ができ、いい思い出ばかりで
した。



伊藤 光昭
卒業おめでとう。
中学に入っても運
動に勉強に頑張っ
て下さい。

六年間の一番の思い出は、羽津小
と羽津北小と別れたこと。仲のいい
大勢の友達と別れ、とてもさみしか
った。



田中 芳明
六年間、良き先
生、友達に囲まれ
大きく成長しまし
た。どうもありが
と。

この六年間で、一番印象に残った
ことは緑の学校。雨の中を宮妻峡ま
で歩いたつらさは一生忘れません。



久志本貞子
卒業おめでとう。
中学生になつたら
自分の行動には責
任をもつこと。

忘れられない思い出。ぎょう間マ
ラソンで、寒い中を馬拉ソン大会め
ざして走った農道。あせを流したこ
とだ。



伊藤 平六
卒業おめでとう。
中学生になつたら
もっと思いやりの
ある子にな。

初めはいやだと思っていたグリー
ンスクール。でもあの三日間は、絶
対に忘れられない思い出になるだろ
うなあ。



永田 智道
長い様で短い六
年間でした。中学
での一層の努力を
期待します。

五、六年と二年間やった運動会
での組立て体操。とてもえらかった
けど一生懸命やったあの時のことは
忘れぬ。



松下 輝夫
身体が弱くて
も気にかかる子。
でもここまで守ら
れ卒業おめでとう。
松下ラケル

六年間の中で、グリーンスクール
へ行き自然と集団生活の中で過し
たことが印象に残った。



陣田 勝弘
六年間に学んだ
事を基礎にして、
中学校生活を頑張
つて下さい。

寒い中をがんばって走った業間マ
ラソン。その成果が表れた馬拉ソン
大会。とてもよい経験が出来ました。



森 美奈子
卒業おめでとう。
健康に気をつけ、
希望を持って、前
進して下さい。

一年生の時に覚えた九九。毎日の
テストに合格するために必死になっ
てがんばったこと、今でも忘れられ
ない。



森 公
卒業おめでとう。
明るく、より多く
の友達を大切に。
森 清美

時に組立て体操をして、六年も組立て
体操で当日のミラスタが成功した
ことが、心にのこった。



舘 美剛
六年間の勉強を
生かして、責任の
ある立派な中学生
になつて下さい。

六年間の中で、心に残っている思
い出は、修学旅行です。新京極での
楽しかった買い物、絶たい忘れない。



岡部 巨
よく遊び多くの
友達ができ良か
ったね。春から中
学生。勉強だ。

函をくいしばってがんばった運動
会。練習はきつかったけど、あの日
はく手の中のブリッジは、気持ちよ
かったな。



荒木 正一
大病もせず、沢
山のお友達、そし
て先生、すばらし
い六年間でした。

楽しみにしていた修学旅行も終わ
りました。迷子になった買い物。み
んなで食べた夕食。よい思い出でし
た。



酒井 節夫
めまぐるしく変
化する世の中。大
地に根を張り大き
な希望の木となれ。
酒井 美喜

六年生にならなくては行けない修
学旅行とグリーンスクールが一番思
い出に残った。えらかったけど、楽
しかった。



大和田ツネ子
卒業おめでとう。
今まで通り明るい
気持ちで勉強運動
に、精一杯頑張っ
て下さい。

一番の思い出は、ひっこししてき
た事です。一回経験があるので、友
達もわりと早くできてよかったです。



加藤 勇
中学校へ進んで
からも、感になつ
た先生方を背かな
い様勉強に運動に
励んでほしい。

長い事お世話になった先生方どう
もありがとうございました。中学校
に行つて勉強に運動にがんばります。



入住 彰
小学校の楽しい
思い出を胸に、中
学では自主性を大
切に育てよう。

五年生の時に行つたたご山。山に
遠足に行けると思い大喜びでした。
でも、歩く道がとても長くてたいへ
んでした。



岸田 次生
卒業おめでとう。
想い出多い六年間
を胸に七転八起の
精神で頑張つて。

六年間の学校生活の中で、いろい
ろなことがあった。社会見学、遠足、
写生大会と、楽しい思い出がいっぱ
い。



思い出について
ひとこと
父 母
卒業生
6年3組



矢田 貞好

みなさん、卒業おめでとう！

さいます。いよいよ中学生ですね。うれしくて、うれしくて夜もろくに寝られないのではないですか。中学生になったら、次の二つを守ってください。

学校を休まないこと。少しぐらいの病気なら、出席しない。かなりの病気でも出席しない。若い時は、友達の顔を見ていると、病気も治ってしまうものです。

それに、どんなことでもまじめにやること。生活も友達とのつき合いも勉強も。みなさんお元気で。



渋谷 千栄国
卒業おめでとう。
これから健康に
気をつけて頑張っ
て下さい。

ぼくが、一番印象に残ったことは、二泊三日のグリーンスクールでした。きびしいと思っていたら、とても楽しかった。



久保 績

六年間良かんばりましたね。中学生になってもがんばりましょうね。

久保 砂雄

小学校生活が一番楽しかったのが、グリーンスクールがおもしろかった。いいことをいっぱい学びました。



海住 敏久

卒業おめでとう。素直な心強い気持ちを
持って中学生時代を送って下さい。

海住 陽洋

一番印象に残ったことは、グリーンスクールです。みんなと過ごした二日間は、一生わすれないと思う。



鶴田 勝

一日も病欠する事無く通学できて良かったね。健康第一。頑張れ。

鶴田 弘樹

ぼくが一番印象に残ったのは、修学旅行です。いろいろな所を回りました。とても楽しかったです。



木村 多華子
卒業おめでとう。
先生職員の皆様に
感謝の気持ちをいつ
までも忘れないで
下さい。

ぼくが一番印象に残ったのは、修学旅行です。金閣寺の建物、大政奉還の行なわれた一帯城など、楽しい思い出でした。



野田 勝三

たくましい中学生になって下さいね。親に心配かけない中学生に。

野田 茂樹

ぼくは、六年生になって、修学旅行に行った。一番印象に残ったのは、清水寺の、清水の舞台。とても高かった。



栗野 勝美

六年間の学びを基に勇氣と希望を持って中学生生活を最高のものにして下さい。

栗野 宗幸

一番楽しかったのは修学旅行です。なぜかと言うと、京都の各地を回ったのも楽しかったです。



後藤 照子

六年間、よく頑張ったね。健康で思いやりのある人になって下さい。

後藤 豊和

先生方、六年間いろいろな迷惑を
かけてすみませんでした。中学校では迷惑をかけないように努力します。



森 紀春

先生の教えを肥料として、立派な
けやきとなるよう
増々の努力を。
森 和重

ぼくは、グリーンスクールで、三日間をすごしたことが、一番印象に残って、楽しかったです。



水谷 鏡一

卒業おめでとう！
六年間頑張ったね
諸先生方ありがとうございました。
水谷 俊文

楽しかった修学旅行、観光バスで、金閣寺や東大寺の大仏や京都奈良の名所を二泊とまって、帰った。いい勉強だ。



川北 昭元
泣き虫だった一
年生がたくましく
なって巣立つ、中
学生に！
川北健一郎

修学旅行やグリーンスクールや、遠足。とても楽しかったグリーンスクールは長かったので楽しかった。



樋口やま子

小学校時代に学んだ事を基礎にし
中学へ入ってから
も勉強にクラブに
頑張ってください。

樋口 誠一

六年生で一番印象に残ったことは修学旅行です。この六年間いろいろなことがあり、思い出になった。



寺村 剛

相手や全体の立場に立つて物事を考える中学生になりましょう。
寺村 尊志

第一日目のフアイヤガとても楽しくて、とちゅうで羽津北の先生たちが出てきて楽しかったです。



高木 勝義

友と未知の明日へ向かって一歩一歩踏み固めて行きなさい。
高木 哲也

六年生のとき、運動会や、遠足や、グリーンスクールや、修学旅行が思い出に残るだろう。



藤井 久代
楽しい時、苦しい時いろいろありましたね。これからも強く生きて下さい。
藤井 徹

一泊二日の修学旅行、一泊三日の緑の学校。遠足はこの六年の良い思い出となり、楽しくおもしろかったです。





森田 敏昭
明るく素直に育つてくれました。
この調子で中学高
校を乗りきろうね。

ぼくは東京での日光移動教室が心に残った。三日間、東照宮などの名所をまわってとても勉強になった。



林 昭成
長い様で短い六年間大変お世話になりました。有難うございました。

桜の花につつまれて入学したあの日から、早八年たつて卒業です。先生方、長い間ありがとうございました。



加藤 征子
自分を大切にしようと考えて行動し充実した毎日を確実に歩んでほしい。

小学校生活で、一番よかったのは修学旅行です。古い建物や、かわいしかなど、とても楽しかったです。



近藤 栄一
卒業おめでとう。中学生になっても率直で明るい子でいて下さい。

修学旅行、いろいろな事を学び、楽しかったです。先生方に迷惑をかけたけれど、今では楽しい思い出です。



広瀬 正敬
『生涯学べ』自分に責任をもち、常に努力を怠れず、いてほしい。

六年間で心に残ったことは、修学旅行へ行つたことです。京都や奈良へ行つて、とてもいい思い出になりました。



清家 早洋美
卒業おめでとう。眞実一路をモットーに努力を重ねて明るくがんばつて。

長い間いろいろとお世話になりました。たくさんのお話を教えていただき、本当にありがとうございました。



森 昇
卒業おめでとう。小学校生活を土台に根性と全力で頑張つて下さい。

羽津四年、北年と、六年間、色々なことがあつたけど、小学校生活で学んだことを忘れずに、ガンバリます。



伊藤 昭則
祝卒業、明るく誠実に努力を怠れずに希望に胸を張つて大きくはばたけ、若鮎よ！

この六年間、修学旅行やグリーンスクールが、一番印象に残つた小学校生活。本当に良かったです。



岩野 敬典
卒業おめでとう。先生方友達に恵まれたことをとても喜んでます。

卒業もあとわずかになりました。先生方には、ご迷惑をかけ、長い間お世話になり、ありがとうございました。



藤井 良信
小学生時代を基礎にして、素直な娘に育つてほしいと願っています。

先生方いろいろとお世話になりました。小学校で学んだことを忘れない勉強や運動にがんばろうと思ひます。



田中 廣行
卒業おめでとう。良い友達を作つて立派な中学生に成つて下さい。

六年間で学んだことや、経験したことをもとにして、中学校で、勉強や、運動にやくだてたいと思ひます。



森 輝夫
卒業おめでとう。六年間の先生方の教えを大切に。

いろいろな事を経験した六年間、小学校へ入学したのがつい最近のようです。この一年間が一番心に残ります。



鈴木 祐一
卒業おめでとう。中学校生活を、精一杯エンジョイして下さい。

小学校生活も終わりに近づきました。小学校であつたいろいろな出来事を忘れずに、中学校でもがんばります。



下浦 ヒロ子
今日まで、限りなき思い出、明るく元気で今の素直さを忘れずにネ。

六年間の中で一番印象深いのは、修学旅行に行つたことで、特に清水の舞台から見下ろす景色がとてもよかったです。



相松 まさ子
六年間の思い出大切に、明日の一步を心に残し、夢を大きく持つとう。

六年間の思い出。それは修学旅行の京都奈良。とても印象ぶかい金閣寺、大きかつた奈良の大仏。一生忘れない。



奥野 价宣
六年間、大した病気もせず、登校できた事を大変喜んでおります。

小学一年から六年まで習つたことをもとにして、中学になつても希望をもち、がんばりたいと思ひます。



森 悦子
何事も一生懸命にしてくれてありがとう。これから頑張つてね。

この六年間、いろいろあつたけど、中学生になつてもこのことを忘れずに、勉強や運動に、がんばりたいです。



田崎 昇
六年間の学校生活に別れ新中学生となる日心新たに持つて下さい。

あと一カ月で、小学校卒業。悲しくて泣きたい時があつたけど、この小学校生活は一生忘れられないと思ひます。

家庭教育講座を受講して

地区市民センター共催の「家庭教育講座」が十月二十七日(木)と三十一日(金)の二回に渡り講演されました。

一回目は「家庭教育とは何をどうすることなのか」の演題で元放送作家(NHK)の梅田久雄先生で二回目は「児童の健全育成について」の演題で北伊勢児童相談所の石坂一成先生の講演でした。

家庭とは、人間生命をはぐくむ場であり、考えること、行動すること、を学ぶ学校であると話され家庭の重大さを強く教えられました。子供達のアンケートによると、父



母に不満は、(一)今のお母さんは忙しすぎて、話し合えない。(二)家を留守にしすぎる。勉強に不満は、(三)やかましく言うけれど教えてくれない。(四)父の思うように、良い成績がとれない。では親に対する理想像は(一)真実(うそのない)親。(二)正直な親。(三)公平な親。(四)礼儀正しい親。(五)子供の心を理解し話しのわかる親。(六)相談に乗ってくれる友達のような親。を子供達は望んでいるようです。

現在の非行、暴力も家庭の教育、役割が大切かを教えられました。(教養部)

湯の山

東海自然歩道探索

去る十月二十日教養部により、親子ハイキングが、多数の参加で行われました。行先は湯の山温泉「蒼滝」でした。当日は晴天に恵まれ、八時三十分霞ヶ浦駅を元気に出発し、電車で湯の山まで行き、バスにて温泉口まで行きましだ。そこからは、一列に並んで出発進行。途中で、大石公園で小休止をしました。(名前とあり大きな



石でピクニック

早速水遊びをする子ども。休憩が終ると、ヒンヤリした杉木立や、雑木林の中の東海自然歩道を通り、蒼滝不動をへて、目的地の蒼滝へ。滝は冷たそうな水しぶきを上げ、真つ青に澄んだ滝壺へ落ちていました。昼食の前には、先生と子ども達の楽しいフレイションがあり、滝を眺めながらのお弁当は、又格別美味しく感じられました。それから出発までの自由時間を子ども達は、思いきり川遊びを楽しみました。いよいよ出発の時間となり、蒼滝を後にして、温泉口で解散となりました。自然の中での、楽しい一日でした。

一年生の小運動会

北牧かつ江

一年生の学年行事が十一月十一日に行われました。秋空の中、体育館での小運動会でした。

あの広い体育館もせまく感じられるほどでした。

ラジオ体操、親子のボール運び、子供もお母さんも真剣です。

マットでの前転「お母さん早く」と呼ぶ声も聞えてきます。

平均台を渡りお母さんにおんぶされ子供の顔もうれしそうです。成長した我が子を背おい重くなら



つたと思われのお母さんもみえた事と思えます。

一列に並んでのボール渡し、最後のジエんカ、足がもつれるやらでも皆さん本当に楽しそうでした。

ゲートボール大会



寒さもこれからという時期、十一月十一日に、初めての試みで、約八十名の参加を得てPTAゲートボール講習会及び親睦試合が、羽津小で賑やかに、又、楽しく行われました。

ゲートボールといえば大体の方がお年寄りのスポーツと連想されると思いますが……。ゲームの中で最もはしゃいでいたのが子供達先生方？。

最初に羽津地区新風会ゲートボ

ール会員の皆様方の協力を得て、ルール及び実技講習について教えて頂きました。まずコート縦十五M横二〇Mの中にゲートが四ヶ所あり、チーム編成は五人一組が一チームとなり、相手方と制限時間(約二十分)内にゲートを通過させ得点を競うゲームです。だから敵のボールを徹底して枠外に放出してゲートを通過させないようにしたり、味方のボールを有利に運んだりします。何しろチームプレーですので、個人独りがいくら頑張ってもみんなが協力しない事には勝てません。ゲームが始まり出

すと子供、先生、親も真剣です。あちこちで歓声があがったり、賑やかな土曜日の一時でした。参加者の中から子供・親・先生の三チームを選抜し、十三日「羽津地区ゲートボール大会」に出場しました。

結果は、技術的(若さ)には高かったのですが、何しろルールが一夜漬けのため、皆様方の声援もむなしく惜敗してしまいました。子供から老人まで誰でも出来るスポーツであります。用具も学校に購入してありますので、是非、今後ご利用ください。

二月二十九日(水)午後一時 春は名みの 風の寒さよ。早春賦の歌のような一日、羽津北小学校屋内運動場で、ジャズダンスの集いが行われました。

今期最後の企画は、羽津小学校と合同で行いましたところ、七〇名の参加をいただき、楽しいひとときを過ごしました。

あてやかなレオタード姿の刑部紀子先生の御指導で、日ごろの運動不足の重い身体を、軽快なジャズのリズムに合わせていると、爽快な気分になりました。最初は、固くぎこちなかった身体も、

いい汗 ジャズダンス 羽津小と合同で



教養部

二、三曲目から、汗ばむほど動くようになり、どことなくスリムになったと喜びの思いでした。後少しの時間、懇談会を致しました。全員の「またいつしよにやりたね」でした。

親と子のかかわり

両親学級でVTR視聴

十一月二十日、両親学級がもたれ「親と子のかかわり」のVTRを視聴後、各学級で懇談会が行われました。主な概要は、次の通りです。

各学年を通じて問題になっていたのは、やはり父親と子供のふれ合いの「時間」に絞られました。少しの時間でも、中味の濃いものであれば、子供達には充分訴えるものがありますし、まして母親では、父親の役割を果たせない部分もあります。特異なケースとして、子供と母親が密着しすぎていて、父親の入る隙がないという意見が数件ありました。

□うるさい母親に、おとなしすぎる父親のパターンが圧倒的に多い中で、常に「父親を立てる」という、たのもしい意見も出ていました。

高学年では、非行という問題に重点がおかれましたが、それも両親の生活態度がベースになっているものと思われま。父親の勤務先の都合上、帰宅時間の早い、遅いもあります。ほんの少しでも子供と接してやる、そして些細な事にも、耳を傾けてやる事が大切なのではないでしょうか。

子供達が、先生、あるいは父親を友達のような気分にいるという意



見もありました。子供達にとって父親、先生を甘く見ているというのも、近頃、父親を頂点とした家庭が少なくなってきたという証拠です。非行、やる気のなさ等、どれをとってみても、元凶は父親の弱さにあると言っても、過言ではありません。休日以外食をしたり、デパートに買い物につれて行ったり、それを父と子の、あるいは親子のふれあいと感ずる人々が多いこの頃です。何もお金を掛けなくても、近所の広場でのキャッチボール、タコあげで十分であって、かえってその方が子供には感激があると思います。

今回の懇談会で、どのクラス共父親と子の問題に重点がおかれておりました。どのお宅でも、それぞれに父親の役割について悩み、深く反省をして頂き、結構実のある懇談会だったと思います。

編集後記

★一年間が過ぎ、今は広報部員一同、ホッとした気持ちでいます。★本年度「けやき」は第十八号まで計画してありましたが、都合により、第十四号(卒業特集と合併)にて、最終号となりました。

★十四号の編集会議の日は、いつも外は銀世界。寒さも忘れて、原稿と紙面を眺め、会員の皆様に、少しでも読みやすく、楽しい紙面をと悪戦苦闘。

★素人はかりの広報部員でしたので、会員の皆様には、大変読みづらい紙面であったことを、お詫びします。

★本年一年間、ご協力をいただきました皆様様に、紙面をおかりして、厚くお礼を申し上げます。

編集委員

- P 荒木 正一 木村 恵子
- 天野 妙子 樋口 勝彦
- 田中 寿子 田崎 昇
- 館 富美子 久志本貞子
- 森 輝夫 鈴木 清教
- 酒井マチ子
- T 山田 智子 加藤ふみ子
- 内山 治男